学校番号	306

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　新現代社会　（帝国書院）						
副教材等	ライブ！現代社会２０１８（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・単なる暗記ではなく、学習内容をどう捉え、どう考え、どう生かしていくか、が大切です。様々な物事に対し、自分なりの考えを持てるようにしましょう。
・新聞やニュースを見るなど、国内外の社会情勢を普段からチェックしておきましょう。
・ワークシートは定期的に提出してもらいます。各授業でしっかり取り組みましょう。

2　学習の到達目標

・現代社会の基本的な問題について公正な判断ができるようにする。
・人間としての在り方生き方について考える力を身につけさせる。
・良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地球環境問題社会	・破壊される地球(1) ・破壊される地球(2) ・地球環境問題への取り組み	○ ○	 ○	 ○ ○	○ ○	a:地球温暖化に対する関心が高まっている。 b:環境保全、温暖化防止をどのように図っていくかを多面的・多角的に考察している。 c:地球温暖化に関する諸資料を収集し、活用している。 d:地球温暖化は、経済発展に伴う二酸化炭素などの排出、地球環境の汚染や破壊の問題であることを理解している。	定期考査 ワークシート 小テスト
	資源・エネルギー問題	・限りある資源 ・エネルギーの開発と利用 ・人口問題と食料・水資源	○ ○	 ○	○ ○ ○	 ○	a:資源・エネルギー問題に対する関心が高まっている。 b:資源・エネルギー問題について、多面的・多角的に考察している。 c:資源・エネルギー問題に関する諸資料を収集し、活用している。 d:資源は有限であること、公正な分配と持続可能な利用について様々な立場でそれぞれの考え方があることを理解している。	定期考査 ワークシート 小テスト
	生命科学と情報技術の課題	・人間の生死と生命科学 ・遺伝情報と利用の諸課題 ・高度情報化社会と情報倫理	○ ○	○ ○	 ○	○	a:人間の生死や遺伝子技術と生命の問題に対する関心が高まっている。 b:人間の生死や遺伝子技術と生命の問題について、多面的・多角的に考察している。 c:人間の生死や遺伝子技術と生命の問題に関する諸資料を収集し、活用している。 d:科学技術の進歩が、人間の生命や死の在り方にまで影響が及んできたことを理解している。	定期考査 ワークシート 小テスト

	自分らしく生きる己の形成	・青年期とは ・自己形成の課題(1) ・自己形成の課題(2) ・職業生活と社会参加	○ ○	 ○ ○	 ○	 ○ ○	a:青年の生き方に対する関心が高まっている。 b:青年の生き方について、多面的・多角的に考察している。 c:青年としての生き方に関する諸資料を収集し、活用している。 d:生涯における青年期の意義と自己形成、望ましい職業観・勤労観や男女共同参画社会、社会参加、などについて理解している。	定期考査 ワークシート 小テスト
	人間としてよく生きる	・哲学と人間 ・宗教と人間 ・科学と人間 ・自由の実現 ・人間と幸福 ・人間性の回復と主体性の確立 ・他者の尊重	○	 ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:人間としてよく生きることについて、意欲的に追究しようとしている。 b:人間としてよく生きることについて、多面的・多角的に考察している。 c:人間としてよく生きることに関する諸資料を収集し、活用している。 d:学ぶことの意義、人間の幸福と科学、人間の尊厳、正義と自由の意味などについて理解している。	定期考査 ワークシート 小テスト
	日本人としての自覚	・古代日本人の思想と仏教思想の展開 ・外来思想の受容と日本の思想	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:わが国に古くから根付いている思想や外来思想の受容・伝統について意欲的に追究しようとしている。 b:わが国に古くから根付いている思想や外来思想の受容・伝統について、多面的・多角的に考察している。 c:わが国に古くから根付いている思想や外来思想の受容・伝統に関連する諸資料を収集し、活用している。 d:わが国に古くから根付いている思想や外来思想の受容・伝統について理解している。	定期考査 ワークシート 小テスト

2学期	現代国家と民主政治	・民主政治の成立 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界の主な政治制度	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a:民主主義の歴史や基本的原理に関して興味を抱いている。 b:西洋で発達した民主主義の原理と日本の政治機構の仕組み、主要国と日本の政治制度を比較し考察している。 c:民主主義の原理について、思想家たちの原典資料の内容を確認している。 d:権力分立、主要国の政治制度に関して正しい知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 小テスト
	日本国憲法の基本的性格	・日本国憲法の制定 ・日本国憲法の基本的性格 ・自由に生きる権利 ・平等に生きる権利 ・社会権と参政権・請求権 ・新しい人権 ・人権保障の広がりと公共の福祉 ・平和主義とわが国の安全 ・こんにちの防衛問題	○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:日本国憲法の成立過程や基本原則に対して興味・関心を抱いている。 b:民主主義の実現を目指す憲法の必要性や、社会の望ましい在り方を判断している。 c:日本国憲法の成立や人権保障に関する情報を収集し、活用している。 d:基本的人権の保障と法の支配、平和主義と我が国の安全など日本国憲法の基本原則について理解している。	定期考査 ワークシート 小テスト
	日本の政治機構と政治参加	・政治機構と国会 ・行政権と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民福祉 ・政党政治 ・選挙制度 ・世論と政治参加	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方を意欲的に追究しようとしている。 b:個人と国家の役割や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について多面的・多角的に考察している。 c:個人と国家の役割や民主社会に主体的に生きる人間の在り方に関する諸資料を収集し、活用している。 d:国民主権と議会制民主主義など日本国憲法の基本原則と世論形成や政治参加の意義、民主政治の課題について理解している。	定期考査 ワークシート 小テスト

	現代の経済社会	・経済主体と経済活動の意義 ・経済社会の変容 ・市場のしくみ ・市場の失敗 ・現代の企業 ・国民所得 ・経済成長と国民の福祉 ・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・財政の役割と租税 ・日本の財政の課題	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:現代の経済社会における個人、企業や公的部門の経済活動に対する関心を高めている。 b:消費者、納税者としての個人の経済活動における社会的責任について多面的・多角的に考察している。 c:公的部門の経済活動に関する諸資料を収集し、活用している。 d:現代の経済社会における企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働きなどについて理解している。	定期考査 ワークシート 小テスト
3学期	日本経済の特質と国民生活	・戦後復興から高度経済成長へ ・安定成長からバブル経済へ ・日本経済の課題 ・日本の中小企業 ・日本の農業 ・消費者問題 ・公害の防止と環境保全 ・労働問題と労働者の権利 ・こんにちの労働問題 ・社会保障の役割 ・社会保障制度の課題	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	a:近い将来社会に出て労働者となる自覚のもとに、労働環境に関する諸問題を自らにかかわる問題としてとらえている。 b:企業の経済活動における法的・道義的責任について多面的・多角的に考察している。 c:戦後日本経済史に関する史料を、様々な文献から幅広く収集している d:現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全、社会保障の課題などについて理解している。	定期考査 ワークシート 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。